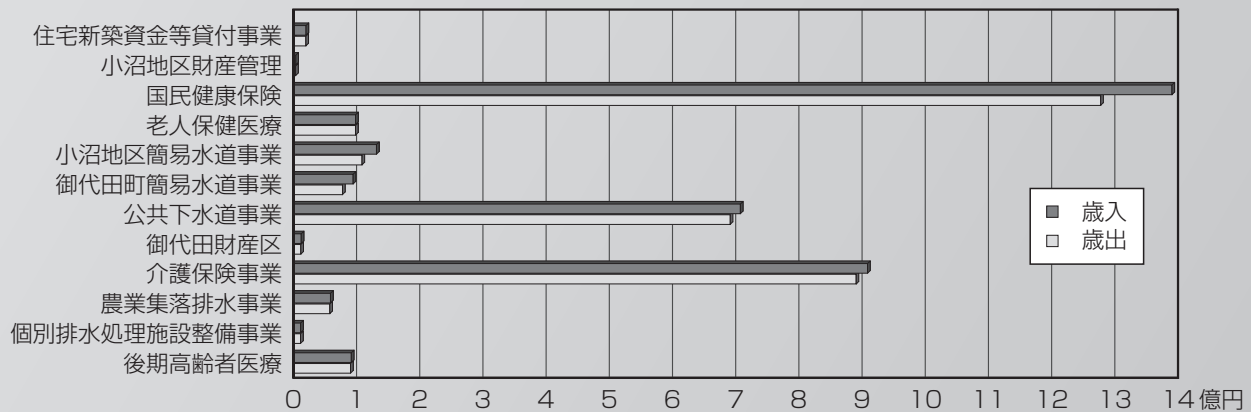


# 特別会計

単位:万円

会計名	歳入 35億2,928万円			歳出 33億3,838万円		
	決算額	前年度	対前年比	決算額	前年度	対前年比
住宅新築資金等貸付事業	2,005	1,977	1.4%	1,975	1,976	-0.1%
小沼地区財産管理	382	376	1.6%	321	319	0.6%
国民健康保険	139,042	138,310	0.5%	127,756	130,219	-1.9%
老人保健医療	9,841	93,547	-89.5%	9,832	93,033	-89.4%
小沼地区簡易水道事業	13,153	12,468	5.5%	10,863	11,148	-2.6%
御代田町簡易水道事業	9,459	9,487	-0.3%	7,775	8,513	-8.7%
公共下水道事業	70,742	86,552	-18.3%	69,140	82,881	-16.6%
御代田財産区	1,244	5,065	-75.4%	1,177	4,974	-76.3%
介護保険事業	90,867	85,099	6.8%	89,058	82,077	8.5%
農業集落排水事業	5,873	3,068	91.4%	5,765	3,035	90.0%
個別排水処理施設整備事業	1,149	1,021	12.5%	1,132	1,001	13.1%
後期高齢者医療	9,171	-	100.0%	9,044	-	100.0%
合計	352,928	436,970	-19.2%	333,838	419,176	-20.4%

## 特別決算の状況



衛生費では医療提供体制推進事業費補助金やごみ処理施設建設設計画の中止による小諸市、軽井沢町への補償金などにより7、082万円、20.7%の増加となりました。

減少した科目では、公債費が前年に比べて3億3、478万円、27.6%減となりました。前年度に繰上償還を実施したことが要因となっています。

災害復旧費については前年度に台風9号による大きな災害が発生したことにより、3、286万円、17.2%の減少となりました。

### 【特別会計】

特別会計は12会計で、それぞれ目的に沿った事業を推進しました。

このうち、老人保健医療特別会計は後期高齢者医療特別会計への移行により、前年に比べ89.5%の大幅な減少となりました。

御代田財産区特別会計は前年度に用地の売却があったため、75.4%の減少となりました。

農業集落排水事業特別会計では機能強化工事を実施したことにより、91.4%の増加となりました。

### 問い合わせ先

企画財政課財政係(内線52・54)

## 起 債

平成20年度起債残高(普通会計) 58億2,024万円

※普通会計＝一般会計＋住宅新築資金等貸付事業特別会計＋小沼地区財産管理特別会計

### 借入先内訳

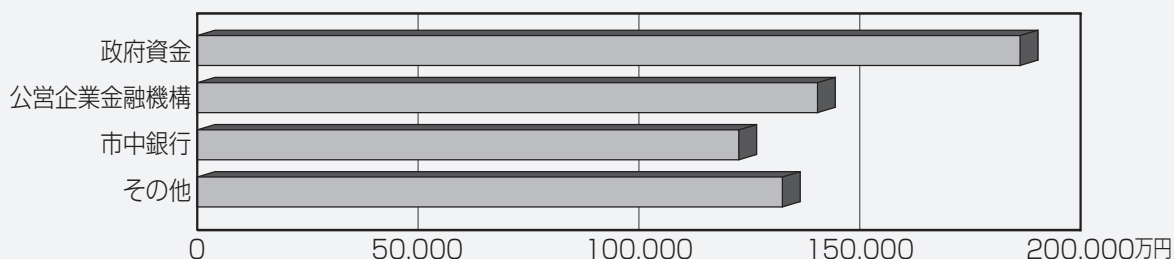
単位:万円

借入先	金額
政府資金	186,360
公営企業金融機構	140,435
市中銀行	122,638
その他	132,591
合計	582,024

### 20年度起債事業

単位:万円

事業名	起債額
臨時財政対策	16,930
学校教育施設等整備事業	490
地域総合整備資金貸付事業	20,000
施設整備事業(一般財源化分)	450
一般単独事業	400
公共土木施設等災害復旧事業	1,380
農地農林施設災害復旧事業債	70



### 健全化判断比率

単位:%

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
-	-	9.5	-

※数値は暫定値のため、変更されることがあります。

### 資金不足比率

単位:%

特別会計の名称	資金不足比率
御代田町公共下水道事業特別会計	-
御代田町農業集落排水事業特別会計	-
御代田町個別排水処理施設整備事業特別会計	-
小沼地区簡易水道事業特別会計	-
御代田町簡易水道事業特別会計	-

### 【健全化判断比率】

#### ① 実質赤字比率

普通会計(一般会計、住宅新築資金特別会計、小沼地区財産管理特別会計)の収支であり、黒字となっているため数値なしとなりました。

#### ② 連結実質赤字比率

特別会計を含めた全会計の収支であり、すべての収支が黒字のため数値なしとなりました。

#### ③ 実質公債費比率

一般会計が負担する借入金返済額の割合で、全体の公債費や公債費へ充当された負担金などから算定し、平成18年度から平成20年度の3カ年の平均で9.5%となりました。

#### ④ 将来負担比率

一般会計が将来負担すべき実質的な負債の比率で、全体の負債、第三

セクターや土地開発公社などを含めた負債の重さを示すものですが、当町は第三セクターへの負担がないことや基金残高が多いことなどで数値なしとなりました。

#### ⑤ 資金不足比率

各指標とあわせて、公営企業会計における資金の不足額を算出するものです。各会計で資金の不足額が生じていないため、数値なしとなっています。

各指標において、「早期健全化」と「財政再生」の二つの基準が設けられており、基準を超えると健全化に向けた対策が必要となります。

御代田町は各指標において基準を下回っているため、健全な財政状況となっております。